

小金井市議会議員

きしだ

まさよし

岸田 正義

より、一般質問の内容を一部ご報告いたします！

平成29年4月待機児童数ゼロに向けた取組を問う！

待機児童数195名（平成27年10月1日現在 同年4月比31名増）

Q 待機児童数ゼロに向けて減少させていく予定が逆に31名増加しているが予定は順調か。

Q 左図の通り、のびゆく子どもプランの児童推計と平成28年2月現在の実績値では260名の乖離が出ている。保育利用率の高まりも考慮すれば、早急にプランを見直すべき！

A 現時点では、事業計画の着実な推進が重要。

Q 北部地域には幼稚園が1園しかなく幼稚園難民である。3年前から要望しているが、北部地域に認定こども園を早急に設置すべき！

A 認可2園+認可への移行により4月時点で149名の定員増となり待機児童数は減る見込みだが、今後も危機感を持って迅速に対応していく。

	プラン推計	2月実績	乖離
0歳	952名	1,072名	120名
1歳	948名	1,024名	76名
2歳	957名	1,021名	64名
合計	2,857名	3,117名	260名

A 中央線の北側地域に平成29年4月開設に向けて、事業者と調整して着実に進めていく。

認可・認可外保育施設保育料の格差是正を問う！

現在、子ども子育て会議に利用者負担の在り方について諮問中！

Q この課題も何回も質疑を繰り返し、ようやく議論が始まったことは評価したい。諮問に対する答申の時期、その後のスケジュールは？

A 平成28年7月頃を目途に答申を頂き、その後には条例改正を行い、平成29年4月から新しい利用料金の適用を行いたい。

Q そもそも平成18年3月の児童福祉審議会での答申で指摘されているにも関わらず、議論を先送りしてきた市の対応に問題がある。市民の就労形態や生活スタイルは多様化しており、子育て支援や保育を必要とする家庭が等しく保育サービスを受ける環境を整えることが急務。財政状況も踏まえつつ段階的に所得階層に応じた格差是正や多子軽減策を図るべき！

A 平成28年度予算において保育室等入所児童保護者助成金の月額1,000円増額を提案した。今後も受益者負担の見直しによる財源を活用し格差を解消していく。



子育て世代として、遅れていた小金井市の保育政策を西岡市長と共に前へと進めていきます！

日本一とも言われる学童保育の未来を問う！

委託された学童保育所の検証と再発防止策は！？

Q 労使による委託事業全体の検証とともに課題があれば再発防止策をとる必要がある。より良い学童保育の為に運営基準や仕様書、事業者選定の見直しを運営協議会で議論すべき。

A 労使での検証とともに議員からのご提案については利用者の代表である運営協議会で再発防止に向けたご意見を賜りながら取り入れられるものは取り入れていきたい。

大規模化は喫緊の課題！まえはら学童・みどり学童で都型学童補助金は受けられず！

Q まえはら学童・みどり学童で1人当たり1.65㎡以下の育成面積となったことをどのように受け止めているか。また、都型学童補助金は受けられないのではないか！？

A 育成面積が1.65㎡を下回るのは事実。利用者にはご迷惑をおかけするが実際の出席率等について注視していく。議員の指摘通り、都型学童補助金は受けられないことになる。

Q 保育所待機児童の問題は数年後の学童保育の問題。これはどの学童でも起こり得ることであり、早急な対策が必要と言いつつ続けてきたが、どのような対応をしているのか？

A 毎年8～9月に市内認可保育所、認証保育所や保育室及び市内幼稚園に入所希望調査を実施しているが、実際の申請は1月であり各家庭の状況変化など、大きな課題である。

学童保育所の利用率は増加の一途！利用者数も毎年約70名ずつ増加！

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
合計(小学校)	2523人	2405人	2320人	2362人	2451人	2527人
合計(学童保育所)	708人	695人	726人	798人	862人	931人
利用率	28.1%	28.9%	31.3%	33.8%	35.2%	36.8%

Q 9月の入所希望調査では間に合わない。見込みと実績値でも平成27年は122名、28年は167名の乖離があり、利用率も年々増加。早急に今後数年間の予測を見直すべき！

A 現在、各施設の定員を超えて全入制を維持しているが、実際の利用状況等を含め、議員の指摘も参考にしながら現状把握を行い、早急に大規模化解消に向け対応を進めていく。

Q 学童のみで放課後の子どもの居場所を支えることは不可能。だからこそ臨時的対処ではなく抜本的な対策が必要であり、放課後の子どもの居場所のビジョンを早急に議論し、教育委員会の更なる協力を求めるべき！

A 学童保育の未来に対する議員ご指摘の課題は極めて重要な課題である。市長の公約である全入制を維持していく為に、今後の放課後の子どもの居場所づくりについては教育委員会に協力を求めていく。

子どもを真ん中において党派を超えて議会も行政も保護者が知恵を合わせて解決すべき課題！

岸田正義のプロフィール

家族：母、妻、娘(7歳)、息子(4歳)の子育て奮闘中！！ 趣味：野球

1978年2月10日生まれ(38歳)

2002年 セントラル警備保障株式会社 入社

1984年 聖霊幼稚園 卒園(小金井市桜町)

2006年 政治を志し、同社を退社し、

1990年 小金井市立緑小学校 卒業

末松義規 衆議院議員(東京19区選挙区)

1993年 小金井市立緑中学校 卒業

公設第一秘書として各地を奔走する。

1996年 錦城高等学校 卒業

2012年 地元、小金井で活動するべく、秘書を退職

2001年 明治大学政治経済学部 卒業

2013年 小金井市議会議員 1,392票で初当選

皆様のお声を聞かせてください！！

岸田正義と歩む会事務所 〒184-0005 小金井市桜町1-10-24 TEL/FAX 042-383-1819

メール：kishida.koganei@gmail.com

HP：www.kishida-koganei.net